文教クラブ since1987 ニュースレター

長崎市石神町9-8
050-5897-3687
bunkyoclub@gmail.com

2016年
11月号
Vol. 17

活動報告&フォトアルバム

10/8
月の黙想会
失敗しても気持ちを切り替えすぐに立ち上がるためのお恵みを神様にお願いしました。

10/9
芦屋基地航空祭
戦闘機の衝撃的な速さ、ブルーインパルスの飛行技術とチームワークに感動。テクノロジーの最前線と人間の極限に触れることができました。

10/22～23
熊本ボランティア
被災した家屋の中にあるものを廃棄する仕事を行いました。他の人の役に立つという経験と様々な人との交流を通して沢山のことを学びました。

11/3
雲仙登山
青空、秋風、山、色味がかった木々、運動、足湯、じゃがちゃん。
自然の恵みを最大限満喫できました。

今月の司祭のお話

「乞食がくれたもの」

以前こんな話を聞いたことがあります。

あるとき、働き者の靴屋さんのもとへ乞食がやってきました。靴屋さんは乞食の姿を見ると、うんざりしたように言いました。「おまえが何をしにきたか分かっとるよ。しかしね、ワシは朝から晩まで働いているのに、家族を養っていく金にも困っている身分だ。」そして嘆くように言うのでした。「こんなワシに何かをくれ、くれと言う。そして、今までワシに何かをくれた人などいやしない…。」乞食はその言葉を聞くと答えました。「じゃあ、私があなたに何かを差し上げましょう。お金に困っているのならお金をあげましょうか。いくらほしいのですか？言ってください。」靴屋さんはおもしろいジョークだと思い、笑って答えました。「ああ、そうだね。じゃ、100万円くれるかい。」「そうですか、では100万円差し上げましょう。ただし条件がひとつあります。100万円の代わりにあなたの足を私にください。」「何？冗談じゃない！この足がなければ、立つことも歩くこともできないじゃないか。やなこった、たった100万円で足を売れるもんか。」「わかりました。では1,000万円あげます。だだし、条件が一つあります。1,000万円の代わりに、あなたの腕を私にください。」「1,000万円！？この右腕がなければ、仕事もできなくなるし、かわいい子どもたちの頭もなでてやれなくなる。つまらんことを言うな。1,000万円ぽっちで、この腕を売れるか！」「そうですか、じゃあ1億円あげましょう。その代わり、あなたの目をください。」「１億円！？この目がなければ、女房や子どもたちの顔も見ることができなくなる。駄目だ、駄目だ、１億円でこの目が売れるか！」すると乞食はいいました。「そうですか。あなたはさっき、何も持っていないと言っていましたけど、でも本当はお金には代えられない価値あるものをいくつも持っているんですね。しかも、それらは全部もらったものでしょう…」靴屋さんは何も答えることができず、しばらく目を閉じ、考えこみました。そして、深くうなずくと、心にあたたかな風が吹いたように感じました。気が付くと乞食の姿はありませんでした。

実は私たちもこの働き者の靴屋さんと似ているところがあるのではないでしょうか？たくさんのものに恵まれているのに、それに気づかず文句ばっかり言ってしまうことがあります。当たり前だと思っていることが、実は当たり前ではない、ということに気がついて感謝できればこんなに素晴らしいことはありません。11月はカトリック教会では伝統的に「死」について考えていきます。それは「命」について考えることにつながります。私たちに与えられた「命」の有難さについて、ゆっくりと考える月にしたいと思います。

〈裕恵介神父〉

今月の特別活動の予定

11/12(土)

月の黙想会

死について黙想し、人生を最大限活用できるよう神様にお祈りします。

11/13(日)

ボランティア活動

グループホーム川平に行き、年配の方々に紙芝居の読聞かせをします。いつもとても喜んでもらえます。オススメです。

11/23(水)勤労感謝の日

テスト直前勉強会

最後の追込み！

その他、特別企画があるかも？

乞うご期待！

参加希望者は篠崎まで！